

令和 8 年度企画立案研修事業委託業務  
公募型プロポーザルに関する質問と回答

令和 8 年 3 月 2 7 日  
福島県職員研修課

番号	質問内容	回答
1-1	仕様書 2.(2)にて『50 名ずつ 3 回に分けて実施』とありますが、これは ①各回が同一内容の単発研修であり、参加者を 3 グループに分けて実施する想定か、 ②参加者を 3 クラスに分け、各クラスが全 3 回を受講するシリーズ研修を想定されているか、 ③回ごとに内容を変える（基礎編・実践編など）構成を想定されているか、 いずれの形式となりますでしょうか。	①の形式を想定しています。
1-2	シリーズ研修の場合や、いずれかの形式で回ごとに内容を分ける場合、各回の位置づけ（基礎・実践など）、到達目標、参加者のクラス分け、および具体的なスケジュールイメージについて教えてください。	上記 1-1 の回答のとおりです。
1-3	実施要領の目的には「人口減少問題をはじめとする複雑かつ高度化する行政課題に的確に対応するため」とありますが、企画内容のテーマは「①社会課題」「②行政運営など内部的な課題」「③両方を含む想定」のいずれを主眼に置くべきでしょうか。特に重点的に取り組むべき課題の方向性があれば、お教えてください。	企画内容のテーマについては、仕様書の内容を踏まえ、研修目的に資するものをご提案願います。
1-4	現状調査・分析にあたり、既存のデータ基盤や過去の調査・分析結果など、活用可能なストックはありますか。あわせて、提供可能なデータの範囲や形式についても教えてください。	研修に使用するデータ等は特に準備しておりません。
1-5	本企画において、AI の活用も視野に入れた設計をご希望でしょうか。活用する場合、研修内での利用（例：ワーク支援）か、業務への活用を前提とした内容か、どのような位置づけを想定さ	仕様書に定める内容のほか、AI の活用も含め、研修目的に資する独自の提案がある場合には、その内容についてご提案願います。

	れていますか。	
1-6	仕様書 6『関係機関との協議』において、『本業務の遂行上必要とする資料の収集等に当たって関係機関との協力を得る場合』とありますが、具体的にどのようなケース（例：特定のデータの提供、識者へのヒアリング、他部署との連携、研修講師や受講者への案内協力など）を想定されていますでしょうか。また、協力体制の範囲についても教えていただけますと幸いです。	現時点で、本業務に係る関係機関との協力について、具体的に想定している内容はありません。県以外の関係機関から協力を得る場合にはあらかじめ県に連絡をお願いしたいという趣旨です。 また、協力体制の範囲についても、現段階で特定定めている内容はありません。
1-7	対象者である『主任主査』の皆様が、企画立案に関して特に強化したいと考えている具体的なスキルや、現状課題として抱えている業務上の悩みなど、より詳細なニーズがあればお聞かせください。また、過去に同種の企画立案研修を実施された実績がある場合、その内容と受講者の評価についても参考までにお教えいただけますでしょうか。	東日本大震災以降、中堅職員は目の前の業務に追われ、企画・立案業務に十分な時間を割くことが難しい状況が続いておりました。こうした状況を踏まえた上で、課題の把握・分析から企画の立案に至る一連のプロセスを習得できる実践的な研修内容をご提案願います。 また、今年度は、同種の企画立案研修を実施しています。内容は、仕様書 2(4)の研修項目と概ね同様であり、受講者からも好評を得ておりました。
2-1	昨年参加された方は今回参加されますでしょうか？同等の内容であると意味がありませんので質問させていただきます。	原則として、今年度開催した研修に参加していない職員を対象とする予定です。
2-2	研修開催方式を教えてください。現地及びオンラインミックスなど。	集合形式での実施を想定しています。
2-3	(講師用の) パソコンは持参してよろしいでしょうか？	講師用のパソコンはご持参いただいで差し支えありません。